

# 基本構想検討シート

## テーマ：住みやすさを感じるまち ～生活の安全・安心の向上～

10年前の書きぶり（4次長計）		
構想レベルの課題	構想レベルの方針	方針に基づく基本事業（参考）
① 地震や風水害などの自然災害に対する備えや、防犯に対する市民の関心が高くなっています。	・だれもが将来にわたって安全に、安心して暮らせるよう、災害対策の充実や防犯対策の向上に努め、万が一、災害に遭った場合でも、生活が続けられるための備えを進めます。	□災害対策の充実 □防犯対策の充実
② 将来にわたって安心して住み続けるためには、生活を脅かす災害や犯罪に強いまちづくりが求められます。	・市民一人ひとりのもしもの備えに対する意識のさらなる醸成を図ることはもとより、消防・防犯の関連機関や市民組織との連携強化を進めます。	□交通安全の推進 ・歩道の整備や歩行空間のバリアフリー化、交通安全施設の整備 ・交通安全対策の向上 ・交通安全運動や交通安全教室などの啓発活動
③ 突然見舞われる不測の事態に対する備えや、市民一人ひとりが自らの生命と財産は自らで守るという意識を持ちつつ、地域においては、互いに助け合い、支えあうという共助の取り組みも欠かせません。	・交通事故を未然に防止し、歩行者にやさしい交通安全諸施策を推進します。	

10年経った今では

5次長計	
基礎調査等から抽出した課題などを書き出しています	今の課題、方向性に対するキーワードは
<p>【施策の評価・検証より】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大地震、集中豪雨や台風など、大規模な自然災害への備えを万全にしていく必要がある。</li> <li>市民一人ひとりが防犯意識を高揚させ、地域、事業者、警察、行政が連携協力の強化充実に努めていく必要がある。</li> <li>歩道の拡幅、段差解消などの交通安全に配慮した道づくりを計画的に進めていく必要がある。</li> <li>自転車の安全走行マナーの向上、交通安全に対する意識向上の取組に努めていく必要がある。</li> </ul> <p>【基礎調査データより】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模災害の多発、新たな犯罪の発生などが国民生活に不安を与えている。</li> <li>身近な地域で安心・安全に暮らせるように、地域や行政、民間事業者等の様々な主体が連携した取り組みが求められている。</li> <li>犯罪の発生件数の内訳は、窃盗犯が多い。</li> <li>犯罪の発生件数の推移は、平成20年以降は減少傾向にある。</li> <li>火災の発生件数の推移は、平成20年以降は増減を繰り返しているが、平成25年をピークに減少傾向にある。</li> <li>交通事故の発生件数の推移は、平成20年以降は減少傾向にある。</li> </ul> <p>【市民・団体アンケートより】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>49.8%の市民が市の目指すべきまちの姿として「災害に強く、犯罪が少ない、安全・安心して暮らせるまち」と答えた。</li> <li>「災害対策の充実」に市民の33.4%が満足、25.2%が満足していない。</li> <li>「災害対策の充実」に市民の85.1%が重要と考えている。</li> <li>市民が考える優先すべき取組として、「避難場所・避難経路の普及啓発」、「地域防災体制の強化」、「防災意識の向上」の順で高くなっている。</li> <li>「防犯対策の充実」に市民の25.5%が満足、29.2%が満足していない。</li> <li>「防犯対策の充実」に市民の84.9%が重要と考えている。</li> <li>市民が考える優先すべき取組みとして、「市民・事業者・警察・防犯協会の連携強化」、「的確・迅速な情報提供」、「防犯灯の整備」の順で高くなっている。</li> <li>「交通安全の推進」に市民の21.2%が満足、43.0%が満足していない。</li> <li>「交通安全の推進」に市民の81.3%が重要と考えている。</li> <li>市民が考える優先すべき取組みとして、「交通安全意識・マナーの向上」、「歩道のバリアフリー化」、「交通安全施設の整備」の順で高くなっている。</li> <li>企業・団体からは重点を置くべき取組として、「どの年代の住民でも安心して暮らせる防災まちづくり」が挙げられた。</li> </ul>	<p>ご意見を準備していただくためのメモ欄です</p> <p>■災害対策では、</p> <p>■防犯対策では、</p> <p>■交通安全対策では、</p> <p>■このテーマに欠けている視点は、</p>